

# NEWS RELEASE



2008年(平成20年)2月7日

---

## 福島空港と関西国際空港との 航空物流に関する共同ビジョンについて

---

この度、福島県と関西国際空港株式会社は、福島空港と関西国際空港の航空物流に関する連携についての共同ビジョンを、別添のとおり策定いたしました。

今後、両者は、両地域の経済界や自治体等(福島県商工会議所連合会、福島空港利用促進協議会及び関西国際空港全体構想促進協議会)の協賛を得ながら、福島空港 関西国際空港 海外ルートによる東北・北関東圏の航空物流の効率化、競争力強化及びその利用促進に共同して取り組んで参ります。

平成20年2月7日



---

## 福島空港と関西国際空港との航空物流に関する 共同ビジョン

---

福島県（福島空港設置管理者）と関西国際空港株式会社（関西国際空港設置管理者）は、日本の航空物流が首都圏空港に過度に依存している現状を共通の課題として認識し、福島空港と関西国際空港の両空港が相互に連携して、航空物流の効率化、競争力強化及びその利用促進等に取り組むため、以下のとおり共同ビジョンを策定した。

1. 福島県は、『東北・北関東圏の国際貨物ハブ空港』として、福島空港に東北・北関東圏の国際貨物を集約するとともに、日本唯一の完全24時間空港である関西国際空港の機能を活用することにより、東北・北関東圏と海外とを結ぶ航空物流の効率化、競争力強化及びその利用促進等に取り組むこととする。

2. 関西国際空港株式会社は、『日本の国際貨物ハブ空港』として、関西国際空港の国際貨物ネットワークの増強を図るとともに、福島空港との接続性の向上や接続範囲の拡大等を行なうことにより、東北・北関東圏と海外とを結ぶ航空物流の効率化、競争力強化及びその利用促進等に取り組むこととする。
3. 両者は、荷主、航空貨物代理店、航空会社等の理解を得ながら、両空港の利点を最大限に生かしつつ、福島空港⇄関西国際空港⇄海外ルートを利用した効率的で競争力のある航空物流ネットワークの形成及びその利用促進等のために、相互に連携して取り組むこととする。
4. 両者は、協賛団体の協力を得ながら、この共同ビジョンを戦略的に推進するために必要な連携事業を行うとともに、福島県経済界と関西経済界の交流を深めていくこととする。

以上

---

【協賛団体】

---



福島県商工会議所連合会



福島空港利用促進協議会



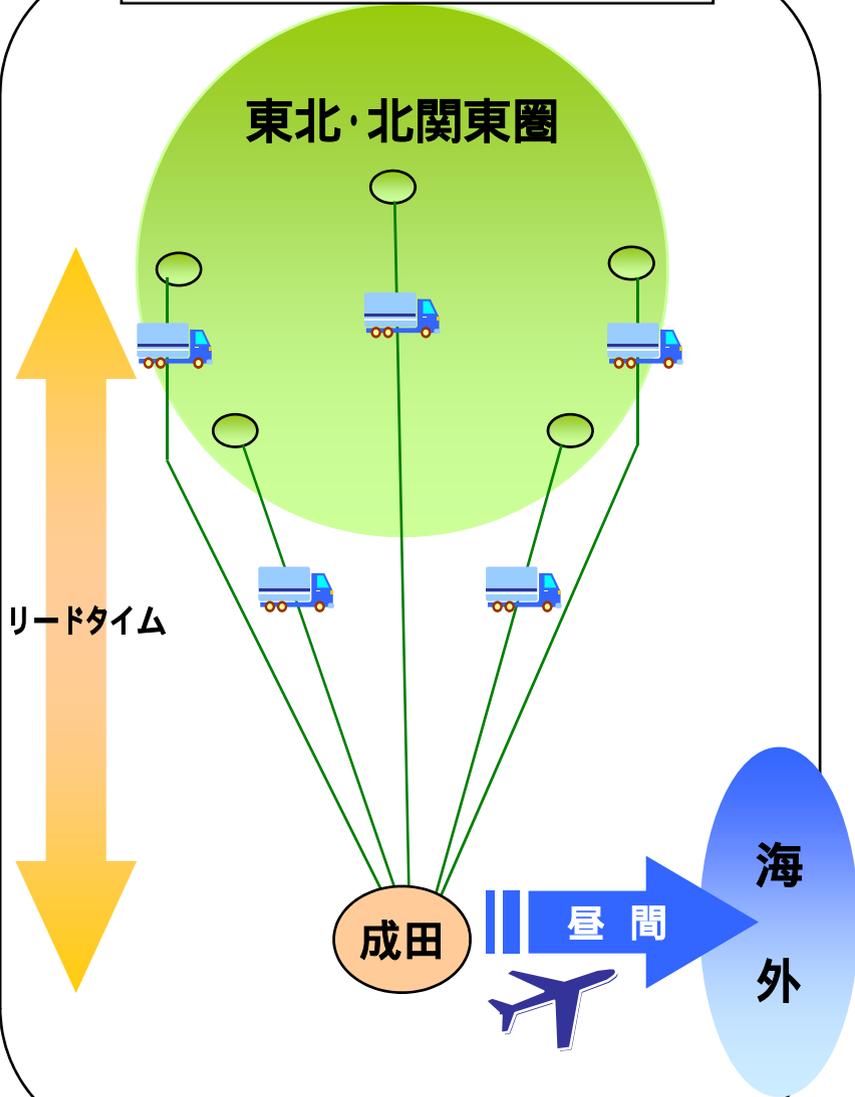
関西国際空港全体構想促進協議会

# 福島空港と関西国際空港との航空物流に関する共同ビジョン

参考資料

## 共同ビジョンにおけるモデルケース

現在の東北・北関東圏の航空物流モデル



福島・関空利用モデル

